

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限（2000年7月28日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	世界主要先進国市場のヘルスケア関連企業およびバイオテクノロジー関連企業の株式
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。</li> <li>ファンダメンタルズの健全な企業へ長期的なバリュー投資を行います。</li> <li>外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</li> <li>マザーファンドの株式等の運用指図に関する権限は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドへの投資は、制限を設けません。</li> <li>株式への投資は、制限を設けません。</li> <li>同一銘柄の株式への投資は、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>外貨建資産への投資は、制限を設けません。</li> </ul>
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への投資は、制限を設けません。</li> <li>同一銘柄の株式への投資は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>外貨建資産への投資は、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	毎年7月27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# グローバル・ヘルスケア& バイオ・オープン Bコース （為替ヘッジなし）

愛称：健太

第17期（決算日：2017年7月27日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン Bコース（為替ヘッジなし）」は、去る7月27日に第17期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

## ■ ファンドマネージャーのコメント

当期（過去1年間）の運用で主眼においたポイントをご説明させていただきます。

ファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、先進的な研究開発力などを背景に中長期で堅調な業績が見込まれる銘柄を中心に投資を行いました。

### 【第17期末における主なヘルスケア・バイオ関連株への投資のポイント】

#### ポートフォリオの構築について

- ・ポートフォリオの構築については、世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。また、短期的に株価が上昇した銘柄を一部売却し、逆に株価が下落した銘柄を買い増すことで、リスクを低下させつつ魅力的な運用成果の追求をする投資を行いました。
- ・2016年の米国大統領選挙に際し、薬価などの医療費を巡る政治的な議論が活発になったことなどから、投資家のセンチメント（心理）が弱くなり、一時的に企業収益等のファンダメンタルズが株価に反映されにくい場面がありました。堅調な企業業績や新薬への期待などから株価は上昇しました。引き続き、先進的な研究開発力などを背景に中長期で堅調な業績が見込まれる銘柄を中心に投資を行います。

#### 新しい医薬品の開発が期待されている分野について

##### ◎がん免疫治療薬

- ・がんの増殖などに関係する特定の分子を狙い打ちする分子標的薬の開発や、自己免疫機能でがん細胞を攻撃する抗体医薬品の開発が進んでいます。現在のがん免疫治療薬の分野においては、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社および小野薬品工業のオプジーボや、メルク社のキイトルーダが代表的ながん治療薬として知られています。これらのがん免疫治療薬が対象とするがん種は一部であり、今後他のがん種への適用可能性を探る研究も進められています。当ファンドにおいてもこれら企業への投資に加え、多くの製薬会社が新たながん免疫治療薬の研究および開発を進めている中で、有望なパイプライン（新薬候補）を持つ企業についても投資を行いました。

##### ◎アルツハイマー型認知症治療薬

- ・認知症の大きな割合を占めるアルツハイマー型認知症は、世界的な国際化の進展に伴い患者数が急増しており、各国政府も無視できない領域になっています。これまでメカニズムの解明が遅れていましたが、根本的な治療につながる新薬の開発が期待されており、有望なパイプラインを持つ企業に投資を行いました。



ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー  
マネージング・パートナー、グローバル産業アナリスト  
ジーン・ハインズ

前記は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			米ドル為替		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	米ドル	為替	期中騰落率	参考指数			
	円	円	%	円	%		%	%	%	百万円
13期(2013年7月29日)	26,095	100	66.2	97.96	25.2	19,363	33.6	94.1	—	1,364
14期(2014年7月28日)	33,229	100	27.7	101.79	3.9	23,584	21.8	94.1	—	7,239
15期(2015年7月27日)	49,892	100	50.4	123.68	21.5	28,138	19.3	95.4	—	18,836
16期(2016年7月27日)	40,691	100	△18.2	105.12	△15.0	27,191	△3.4	98.0	—	13,200
17期(2017年7月27日)	45,886	100	13.0	110.90	5.5	29,013	6.7	96.0	—	10,528

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時（2000年7月28日）を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		参 考 指 数	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	騰 落 率		騰 落 率				
(期 首) 2016年7月27日	円 40,691	% —	円 105.12	% —	27,191	% —	% 98.0
7月末	40,654	△ 0.1	104.42	△ 0.7	27,269	0.3	97.1
8月末	38,348	△ 5.8	103.18	△ 1.8	26,471	△2.6	97.8
9月末	37,559	△ 7.7	101.12	△ 3.8	26,165	△3.8	97.1
10月末	36,507	△10.3	104.86	△ 0.2	24,601	△9.5	97.5
11月末	39,828	△ 2.1	112.42	6.9	24,733	△9.0	96.3
12月末	41,236	1.3	116.49	10.8	24,900	△8.4	97.2
2017年1月末	40,568	△ 0.3	113.81	8.3	25,172	△7.4	97.3
2月末	43,581	7.1	112.56	7.1	26,927	△1.0	95.4
3月末	43,416	6.7	112.19	6.7	27,103	△0.3	96.3
4月末	43,263	6.3	111.29	5.9	27,469	1.0	96.3
5月末	43,703	7.4	110.96	5.6	27,935	2.7	95.8
6月末	45,798	12.6	112.00	6.5	28,973	6.6	95.9
(期 末) 2017年7月27日	45,986	13.0	110.90	5.5	29,013	6.7	96.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について

(第17期：2016/7/28～2017/7/27)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ13.0% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の主な変動要因

上昇要因

ヘルスケアセクターの株価が上昇したことや、米ドルや英ポンドなどが対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

参考指数の推移  
(期首を100として指数化)



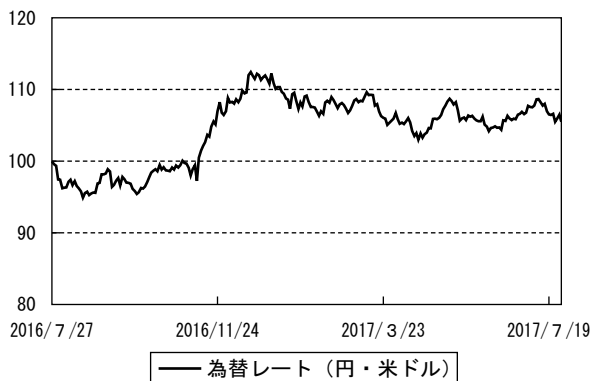
・現地日付ベースで記載しております。

(第17期：2016/7/28～2017/7/27)

◎株式市況

・ヘルスケアセクターの株価は、2016年10月末にかけては、米大統領選が白熱するなか、米政治家による薬価引き下げ発言や、大手製薬ブリistol・マイヤーズ スクイブの治験が期待外れの結果となったこと、一部企業の7-9月期決算への失望などを背景に、下落しました。11月から期末にかけては、米大統領選やフランス大統領選など政治イベントの結果を好感したほか、一部の銘柄で買収観測が高まったことや、トランプ政権の薬価抑制に向けた政策が比較的製薬業界寄りになるとの期待が高まったこと、一部の銘柄で良好な臨床試験結果が発表されたことなどを背景に上昇しました。

為替市況の推移  
(期首を100として指数化)



◎為替市況

・米国の利上げ観測が高まったことなどから、米ドルや英ポンドなどが対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

〈グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン Bコース (為替ヘッジなし)〉

- ・グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行いました。実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

〈グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド〉

基準価額は期首に比べ15.7%の上昇となりました。

- ・世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、今後中長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などにバリュー投資を行いました。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- ・前記のような方針に基づき運用した結果、組入銘柄の現地通貨ベースでの株価は上昇しました。パフォーマンスに影響した主な銘柄は以下の通りです。

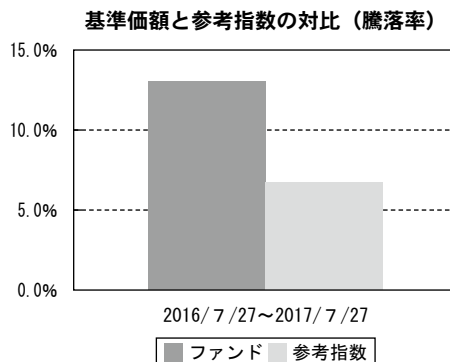
(プラス要因)

### ◎銘柄

- ・ INCYTE CORP (米国) : 関節リウマチや血液がんなどの治療薬を手がけるバイオ医薬品会社。良好な臨床試験結果が好感されたことや、S & P 500 指数に採用されたこと、買収観測などから、株価は上昇しました。
- ・ 為替において、米ドルや英ポンドなどが対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

### 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数については最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
- ・参考指数は米ドル建であり、為替を考慮していない点にご留意ください。



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

### 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第17期
	2016年7月28日~2017年7月27日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.217%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	35,886

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

<グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン Bコース (為替ヘッジなし)>

### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドを主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行います。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

<グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド>

### ◎運用環境の見通し

- ・今後も、ヘルスケアセクターは投資魅力が高いとみています。①バイオ医薬品分野での活発なイノベーションや米国食品医薬品局（FDA）による医薬品の承認ペースが2000年代に比べて上がっている傾向にあること、②新興国の経済成長に伴う所得増加や人口増加、③先進国を中心とした世界的な高齢化の進展などを背景に、今後もヘルスケア市場の中長期的な成長が見込まれています。
- ・ヘルスケアセクターの企業収益見通しは引き続き堅調とみています。2016年の米国大統領選挙に際し、薬価などの医療費を巡る政治的議論が活発になったことなどから、投資家のセンチメントが弱くなり、一時的に企業収益等のファンダメンタルズが株価に反映されにくく、株価の変動が大きくなっていました。トランプ氏が主張するオバマケアの廃止については、既に2,000万人の保険者がいることや議会の調整が難航していることから、全撤廃の可能性は低く、小幅な変更にとどまるとみています。
- ・また、医療保険料の上昇や医療費の財政負担の高まりなどを背景に、医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力は今後も強まる見通しです。合併・買収（M&A）についても、価格抑制圧力に対応すべく規模の拡大によるコスト削減や、開発中の新薬や新技術の獲得などを目的に、引き続き活発に行われるとみています。

### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行う方針です。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- ・運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、今後中長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などにバリュー投資を行う方針です。医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力や、バイオテクノロジーなどの技術の発展は、将来的に企業間のグローバルな優勝劣敗をもたらすと予想されるため、個別銘柄の選別がより重要と考えており、銘柄を厳選していく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年7月28日～2017年7月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	971	2.355	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(574)	(1.392)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(353)	(0.857)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 44)	(0.107)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	12	0.029	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 12)	(0.029)	有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.004	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 2)	(0.004)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	9	0.022	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 5)	(0.012)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	( 4)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	994	2.410	
期中の平均基準価額は、41,205円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年7月28日～2017年7月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	千口 118,578	千円 763,458	千口 741,560	千円 5,053,899

○株式売買比率

(2016年7月28日～2017年7月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	219,227,235千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	283,440,920千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.77	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月28日～2017年7月27日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン Bコース（為替ヘッジなし）>  
該当事項はございません。

<グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
株式	百万円 55,257	百万円 167	% 0.3	百万円 163,969	百万円 634	% 0.4

平均保有割合 4.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	3,405千円
うち利害関係人への支払額 (B)	29千円
(B) / (A)	0.9%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2017年7月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	2,003,638	1,380,656	10,422,164

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年7月27日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	10,422,164	97.0
コール・ローン等、その他	324,900	3.0
投資信託財産総額	10,747,064	100.0

(注) グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (239,264,178千円) の投資信託財産総額 (262,288,779千円) に対する比率は91.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.90円	1 ユーロ=130.04円	1 イギリスポンド=145.40円	1 スイスフラン=116.58円
1 デンマーククローネ=17.49円	1 香港ドル=14.20円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年7月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,747,064,840
コール・ローン等	266,622,069
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド(評価額)	10,422,164,386
未収入金	58,278,385
(B) 負債	218,650,821
未払収益分配金	22,944,605
未払解約金	61,355,675
未払信託報酬	133,742,219
未払利息	474
その他未払費用	607,848
(C) 純資産総額(A-B)	10,528,414,019
元本	2,294,460,500
次期繰越損益金	8,233,953,519
(D) 受益権総口数	2,294,460,500口
1万口当たり基準価額(C/D)	45,886円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,244,176,595円  
 期中追加設定元本額 437,690,087円  
 期中一部解約元本額 1,387,406,182円  
 また、1口当たり純資産額は、期末4.5886円です。

②分配金の計算過程

項 目	2016年7月28日～ 2017年7月27日
費用控除後の配当等収益額	93,243,846円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	7,038,001,941円
分配準備積立金額	1,125,652,337円
当ファンドの分配対象収益額	8,256,898,124円
1万口当たり収益分配対象額	35,986円
1万口当たり分配金額	100円
収益分配金金額	22,944,605円

③(2016年7月28日～2017年5月26日)

信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産額に応じて段階的に次に掲げる率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

25億円以下の部分に対して	年万分の75
25億円超50億円以下の部分に対して	年万分の65
50億円超100億円以下の部分に対して	年万分の55
100億円超の部分に対して	年万分の45

(2017年5月27日～2017年7月27日)

「グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の75以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○損益の状況（2016年7月28日～2017年7月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 97,323
支払利息	△ 97,323
(B) 有価証券売買損益	1,482,621,860
売買益	1,783,984,602
売買損	△ 301,362,742
(C) 信託報酬等	△ 281,782,697
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,200,741,840
(E) 前期繰越損益金	△ 440,947,273
(F) 追加信託差損益金	7,497,103,557
(配当等相当額)	( 3,638,435,408)
(売買損益相当額)	( 3,858,668,149)
(G) 計(D+E+F)	8,256,898,124
(H) 収益分配金	△ 22,944,605
次期繰越損益金(G+H)	8,233,953,519
追加信託差損益金	7,497,103,557
(配当等相当額)	( 3,639,953,678)
(売買損益相当額)	( 3,857,149,879)
分配準備積立金	1,195,951,578
繰越損益金	△ 459,101,616

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	100円
-----------------	------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2017年7月27日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

### 【お 知 ら せ】

- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2017年4月27日)
- ②実態はマザーファンドにおいてのみ運用指図権限を委託していることに即した記載とするため、ベビーファンドにおける関連規定を削除し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2017年5月27日)
- ③信託約款の記載を整備しました。  
(2017年5月27日)
- ④2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

《第155期》決算日2017年2月27日

《第158期》決算日2017年5月29日

《第156期》決算日2017年3月27日

《第159期》決算日2017年6月27日

《第157期》決算日2017年4月27日

《第160期》決算日2017年7月27日

[計算期間：2017年1月28日～2017年7月27日]

「グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド」は、7月27日に第160期の決算を行いました。以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第155期～第160期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界主要先進国市場のヘルスケア関連企業およびバイオテクノロジー関連企業の株式に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>・株式等の運用指図に関する権限は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。</li> </ul>
主 要 運 用 対 象	世界主要先進国市場のヘルスケア関連企業およびバイオテクノロジー関連企業の株式
主 な 組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資は、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資は、制限を設けません。</li> </ul>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		米ドル為替		参考指数		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%	円	%		%	%	%	百万円
131期(2015年2月27日)	69,742	1.5	119.27	0.6	26,861	2.8	96.0	—	79,361
132期(2015年3月27日)	70,439	1.0	119.17	△0.1	27,070	0.8	93.9	—	185,163
133期(2015年4月27日)	72,258	2.6	118.93	△0.2	27,934	3.2	94.9	—	231,347
134期(2015年5月27日)	75,149	4.0	123.01	3.4	27,730	△0.7	96.3	—	257,914
135期(2015年6月29日)	77,214	2.7	122.96	△0.0	28,124	1.4	95.7	—	285,796
136期(2015年7月27日)	78,179	1.2	123.68	0.6	28,138	0.0	96.4	—	305,833
137期(2015年8月27日)	71,886	△8.0	120.06	△2.9	26,472	△5.9	98.0	—	273,392
138期(2015年9月28日)	68,916	△4.1	120.40	0.3	25,354	△4.2	97.1	—	348,604
139期(2015年10月27日)	70,481	2.3	120.76	0.3	25,917	2.2	97.4	—	370,039
140期(2015年11月27日)	75,981	7.8	122.74	1.6	26,589	2.6	97.5	—	405,134
141期(2015年12月28日)	74,955	△1.4	120.52	△1.8	26,805	0.8	96.3	—	406,499
142期(2016年1月27日)	67,275	△10.2	118.25	△1.9	25,055	△6.5	97.0	—	370,862
143期(2016年2月29日)	63,494	△5.6	113.62	△3.9	24,623	△1.7	98.5	—	350,544
144期(2016年3月28日)	63,241	△0.4	113.44	△0.2	24,646	0.1	98.6	—	346,101
145期(2016年4月27日)	65,430	3.5	111.28	△1.9	26,169	6.2	98.2	—	351,735
146期(2016年5月27日)	65,434	0.0	109.79	△1.3	25,942	△0.9	98.3	—	346,255
147期(2016年6月27日)	59,254	△9.4	102.18	△6.9	25,260	△2.6	98.7	—	307,625
148期(2016年7月27日)	65,228	10.1	105.12	2.9	27,191	7.6	99.0	—	331,556
149期(2016年8月29日)	60,874	△6.7	101.85	△3.1	26,562	△2.3	98.5	—	302,868
150期(2016年9月27日)	60,585	△0.5	100.32	△1.5	26,449	△0.4	98.1	—	293,808
151期(2016年10月27日)	59,546	△1.7	104.53	4.2	24,962	△5.6	98.1	—	280,544
152期(2016年11月28日)	64,697	8.7	112.24	7.4	24,763	△0.8	97.8	—	297,414
153期(2016年12月27日)	67,630	4.5	117.45	4.6	24,937	0.7	98.5	—	303,120
154期(2017年1月27日)	66,168	△2.2	114.60	△2.4	25,115	0.7	98.0	—	288,493
155期(2017年2月27日)	70,094	5.9	112.18	△2.1	26,835	6.8	94.1	—	293,455
156期(2017年3月27日)	69,475	△0.9	110.44	△1.6	26,963	0.5	97.1	—	278,523
157期(2017年4月27日)	70,349	1.3	111.35	0.8	27,339	1.4	97.1	—	276,824
158期(2017年5月29日)	71,984	2.3	111.34	△0.0	27,969	2.3	96.7	—	273,715
159期(2017年6月27日)	76,008	5.6	111.95	0.5	29,399	5.1	98.0	—	278,525
160期(2017年7月27日)	75,487	△0.7	110.90	△0.9	29,013	△1.3	97.0	—	261,548

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数(米ドル建て税引後配当込み)の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時(2000年7月28日)を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。
- 出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。



○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		米 ド ル 為 替		参 考 指 数	株 式 組入比率	株 式 先物比率	
		騰 落 率		騰 落 率					
第155期	(期 首) 2017年1月27日	円 66,168	% —	円 114.60	% —	25,115	% —	% 98.0	% —
	1月末	65,798	△0.6	113.81	△0.7	25,172	0.2	98.3	—
	(期 末) 2017年2月27日	70,094	5.9	112.18	△2.1	26,835	6.8	94.1	—
第156期	(期 首) 2017年2月27日	70,094	—	112.18	—	26,835	—	94.1	—
	2月末	70,846	1.1	112.56	0.3	26,927	0.3	96.4	—
	(期 末) 2017年3月27日	69,475	△0.9	110.44	△1.6	26,963	0.5	97.1	—
第157期	(期 首) 2017年3月27日	69,475	—	110.44	—	26,963	—	97.1	—
	3月末	70,713	1.8	112.19	1.6	27,103	0.5	97.2	—
	(期 末) 2017年4月27日	70,349	1.3	111.35	0.8	27,339	1.4	97.1	—
第158期	(期 首) 2017年4月27日	70,349	—	111.35	—	27,339	—	97.1	—
	4月末	70,586	0.3	111.29	△0.1	27,469	0.5	97.3	—
	(期 末) 2017年5月29日	71,984	2.3	111.34	△0.0	27,969	2.3	96.7	—
第159期	(期 首) 2017年5月29日	71,984	—	111.34	—	27,969	—	96.7	—
	5月末	71,457	△0.7	110.96	△0.3	27,935	△0.1	96.8	—
	(期 末) 2017年6月27日	76,008	5.6	111.95	0.5	29,399	5.1	98.0	—
第160期	(期 首) 2017年6月27日	76,008	—	111.95	—	29,399	—	98.0	—
	6月末	75,053	△1.3	112.00	0.0	28,973	△1.5	96.9	—
	(期 末) 2017年7月27日	75,487	△0.7	110.90	△0.9	29,013	△1.3	97.0	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当作成期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ14.1%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

参考指数の推移

(作成期首を100として指数化)



・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

◎株式市況

・フランス大統領選など政治イベントの結果を好感したほか、一部の銘柄で買収観測が高まった

ことや、トランプ政権の薬価抑制に向けた政策が比較的製薬業界寄りになるとの期待が高まったこと、一部の銘柄で良好な臨床試験結果が発表されたことなどを背景に上昇しました。

為替市況の推移

(作成期首を100として指数化)



◎為替市況

・米トランプ政権に対する先行き不透明感が高まったことや、地政学リスクが懸念されたことなどにより、米ドルが対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、今後中長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などにバリュー投資を行いました。なお、運用指図に関する権限をウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。

・前記のような方針に基づき運用した結果、組入銘柄の現地通貨ベースでの株価は上昇しました。パフォーマンスに影響した主な銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

### ◎銘柄

- ・ INCYTE CORP (米国) : 関節リウマチや血液がんなどの治療薬を手がけるバイオ医薬品会社。良好な臨床試験結果が好感されたことや、S & P 500 指数に採用されたこと、買収観測などから、株価は上昇しました。
- ・ 為替において、米ドルが対円で下落したものの、現地通貨ベースでの株価が上昇したことなどから基準価額は上昇しました。

### ○今後の運用方針

#### ◎運用環境の見通し

- ・ 今後も、ヘルスケアセクターは投資魅力が高いとみています。①バイオ医薬品分野での活発なイノベーションや米国食品医薬品局 (FDA) による医薬品の承認ペースが2000年代に比べて上がっている傾向にあること、②新興国の経済成長に伴う所得増加や人口増加、③先進国を中心とした世界的な高齢化の進展などを背景に、今後もヘルスケア市場の中長期的な成長が見込まれています。
- ・ ヘルスケアセクターの企業収益見通しは引き続き堅調とみています。2016年の米国大統領選挙に際し、薬価などの医療費を巡る政治的議論が活発になったことなどから、投資家のセンチメントが弱くなり、一時的に企業収益等のファンダメンタルズ(基礎的条件)が株価に反映されにくく、株価の変動が大きくなっていました。トランプ氏が主張するオバマケアの廃止については、既に2,000万人の保険者がいることや議会の調整が難航していることから、全撤廃の可能性は低く、小幅な変更にとどまるとみています。

- ・ また、医療保険料の上昇や医療費の財政負担の高まりなどを背景に、医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力は今後も強まる見通しです。合併・買収 (M & A) についても、価格抑制圧力に対応すべく規模の拡大によるコスト削減や、開発中の新薬や新技術の獲得などを目的に、引き続き活発に行われるとみています。

#### ◎今後の運用方針

- ・ 引き続き、世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行う方針です。なお、運用指図に関する権限をウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- ・ 運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、今後中長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などにバリュー投資を行う方針です。医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力や、バイオテクノロジーなどの技術の発展は、将来的に企業間のグローバルな優勝劣敗をもたらすと予想されるため、個別銘柄の選別がより重要と考えており、銘柄を厳選していく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年 1 月28日～2017年 7 月27日)

項 目	第155期～第160期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 12 (12)	% 0.018 (0.018)	(a) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	2 ( 2 )	0.003 (0.003)	(b) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	4 ( 4 )	0.006 (0.006)	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	18	0.027	
作成期中の平均基準価額は、70,742円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年1月28日～2017年7月27日)

株式

		第155期～第160期			
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 118	千円 530,989	千株 941	千円 4,186,554
	アメリカ	百株 36,775 (△46,976)	千アメリカドル 201,694 ( - )	百株 102,250	千アメリカドル 716,006
外	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	フランス	84	921	1,296	15,008
	ベルギー	148	997	1,175	7,847
国	イギリス	4,260	千イギリスポンド 8,248	29,446	千イギリスポンド 29,636
	スイス	5,422	千スイスフラン 44,760	2,573	千スイスフラン 49,869
	デンマーク	1,689	千デンマーククローネ 235,772	265	千デンマーククローネ 36,719
	香港	3,790	千香港ドル 4,501	19,160	千香港ドル 12,793

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2017年1月28日～2017年7月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第155期～第160期
(a) 当作成期中の株式売買金額	130,946,101千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	272,665,735千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.48

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年1月28日～2017年7月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年7月27日現在)

国内株式

銘柄	柄	第154期末		第160期末	
		株数	金額	株数	評価額
		千株	千円	千株	千円
<b>医薬品 (85.5%)</b>					
武田薬品工業		347.1		276.9	1,558,670
塩野義製薬		615.2		490.7	2,943,709
中外製薬		368.3		293.7	1,339,272
エーザイ		961		766.2	4,565,019
小野薬品工業		1,112.9		887.4	2,171,024
<b>精密機器 (14.5%)</b>					
オリンパス		657.3		524.2	2,130,873
合計	株数・金額	4,061		3,239	14,708,568
	銘柄数<比率>	6		6	<5.6%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	第154期末		第160期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	16,482	13,163	66,344	7,357,593		ヘルスケア機器・サービス
ANTHEM INC	—	1,713	31,692	3,514,696		ヘルスケア機器・サービス
BOSTON SCIENTIFIC CORP	36,424	28,966	79,426	8,808,426		ヘルスケア機器・サービス
BAXTER INTERNATIONAL INC	7,622	2,014	12,335	1,368,002		ヘルスケア機器・サービス
BECTON DICKINSON AND CO	2,841	2,082	42,220	4,682,297		ヘルスケア機器・サービス
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	28,203	22,625	126,659	14,046,564		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
COMMUNITY HEALTH SYSTEMS INC	5,736	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス
CIGNA CORP	1,550	1,917	33,275	3,690,286		ヘルスケア機器・サービス
CARDINAL HEALTH INC	3,145	4,650	36,118	4,005,540		ヘルスケア機器・サービス
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	1,520	1,016	11,755	1,303,654		ヘルスケア機器・サービス
JOHNSON & JOHNSON	5,855	4,669	61,145	6,781,039		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ELI LILLY & CO	16,121	12,855	105,211	11,667,986		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDTRONIC PLC	15,186	12,090	103,661	11,496,036		ヘルスケア機器・サービス
MERCK & CO. INC.	18,086	9,469	58,522	6,490,145		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MCKESSON CORP	3,457	2,338	38,904	4,314,465		ヘルスケア機器・サービス
STRYKER CORP	4,368	3,483	50,774	5,630,874		ヘルスケア機器・サービス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,715	2,216	38,806	4,303,690		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNITEDHEALTH GROUP INC	7,411	5,709	108,900	12,077,024		ヘルスケア機器・サービス
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	1,209	3,919	30,836	3,419,724		食品・生活必需品小売り
WELLCARE HEALTH PLANS INC	2,150	1,308	23,552	2,612,009		ヘルスケア機器・サービス
MEDICINES COMPANY	7,066	7,066	27,086	3,003,889		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CERNER CORP	4,848	3,035	19,616	2,175,484		ヘルスケア機器・サービス
ALKERMES PLC	12,504	9,217	53,065	5,884,950		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AETNA INC	2,126	2,247	34,992	3,880,624		ヘルスケア機器・サービス
INCYTE CORP	8,491	4,648	63,773	7,072,461		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BIOGEN INC	1,334	1,075	31,803	3,526,975		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ILLUMINA INC	1,978	—	—	—		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	—	2,632	43,021	4,771,134		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TEVA PHARMACEUTICAL-SP ADR	—	5,236	17,302	1,918,867		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ARENA PHARMACEUTICALS INC	50,870	4,974	12,122	1,344,332		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CELGENE CORP	8,590	6,089	83,878	9,302,120		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LIFEPOINT HEALTH INC	1,862	1,485	9,358	1,037,874		ヘルスケア機器・サービス
MYLAN NV	14,010	11,172	43,783	4,855,555		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ATHENAHEALTH INC	1,006	1,247	18,175	2,015,626		ヘルスケア機器・サービス
HUMANA INC	631	503	11,766	1,304,856		ヘルスケア機器・サービス
ALLERGAN PLC	6,464	4,692	120,205	13,330,824		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HCA HEALTHCARE INC	6,725	3,133	25,579	2,836,729		ヘルスケア機器・サービス
REGENERON PHARMACEUTICALS	1,942	1,549	79,883	8,859,133		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	2,856	2,461	20,078	2,226,745		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACADIA HEALTHCARE CO INC	2,695	2,149	10,589	1,174,334		ヘルスケア機器・サービス
IRONWOOD PHARMACEUTICALS INC	9,998	9,998	17,098	1,896,175		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL IN	6,725	3,085	21,857	2,423,949		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PATHEON NV	5,201	1,946	6,793	753,436		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ENVISION HEALTHCARE CORP	3,186	2,896	16,843	1,867,892		ヘルスケア機器・サービス
小計	株数	金額	株数	金額		
	341,210	228,758	1,848,819	205,034,034		
銘柄数 < 比率 >	41	42	—	< 78.4% >		

銘柄	株数	第154期末		第160期末		業種等
		株数	株数	評価額	評価額	
(ユーロ…フランス) ESSILOR INTERNATIONAL	百株 2,897	百株 1,685	千ユーロ 19,589	千円 2,547,375		ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額 2,897	株数・金額 1,685	外貨建金額 19,589	邦貨換算金額 2,547,375		
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 1		<1.0%>		
(ユーロ…ベルギー) UCB SA	5,070	4,043	24,753	3,218,954		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 5,070	株数・金額 4,043	24,753	3,218,954		
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 1		<1.2%>		
ユーロ計	株数・金額 7,967	株数・金額 5,728	44,342	5,766,330		
	銘柄数<比率> 2	銘柄数<比率> 2		<2.2%>		
(イギリス) ASTRAZENECA PLC SMITH & NEPHEW PLC HIKMA PHARMACEUTICALS PLC CONVATEC GROUP PLC	15,274 18,872 — 20,549	12,141 15,049 2,320 —	千イギリスポンド 62,079 19,579 3,302 —	9,026,380 2,846,884 480,203 —		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス ヘルスケア機器・サービス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額 54,697	株数・金額 29,512	84,961	12,353,468		
	銘柄数<比率> 3	銘柄数<比率> 3		<4.7%>		
(スイス) ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN NOVARTIS AG-REG ACTELION LTD-REG ZUR ROSE GROUP AG	2,510 1,619 1,075 —	2,002 5,730 — 321	千スイスフラン 48,536 46,305 — 4,709	5,658,411 5,398,305 — 548,985		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 食品・生活必需品小売り
小計	株数・金額 5,205	株数・金額 8,054	99,551	11,605,701		
	銘柄数<比率> 3	銘柄数<比率> 3		<4.4%>		
(デンマーク) GENMAB A/S	—	1,423	千デンマーククローネ 203,317	3,556,018		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 —	株数・金額 1,423	203,317	3,556,018		
	銘柄数<比率> —	銘柄数<比率> 1		<1.4%>		
(香港) SINO BIOPHARMACEUTICAL WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	82,641 —	65,891 1,380	千香港ドル 45,596 4,788	647,473 67,998		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 82,641	株数・金額 67,271	50,385	715,471		
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 2		<0.3%>		
合計	株数・金額 491,721	株数・金額 340,749	—	239,031,024		
	銘柄数<比率> 50	銘柄数<比率> 53		<91.4%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。



○投資信託財産の構成

(2017年7月27日現在)

項 目	第160期末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 253,739,592	% 96.7
コール・ローン等、その他	8,549,187	3.3
投資信託財産総額	262,288,779	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産 (239,264,178千円) の投資信託財産総額 (262,288,779千円) に対する比率は91.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.90円	1 ユーロ=130.04円	1 イギリスポンド=145.40円	1 スイスフラン=116.58円
1 デンマーククローネ=17.49円	1 香港ドル=14.20円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第155期末	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末
	2017年2月27日現在	2017年3月27日現在	2017年4月27日現在	2017年5月29日現在	2017年6月27日現在	2017年7月27日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	295,287,268,886	279,244,005,231	282,940,315,238	275,513,576,379	280,537,529,844	262,303,613,947
コール・ローン等	16,731,588,237	8,620,750,546	3,012,651,447	8,645,932,424	7,314,269,558	8,384,606,538
株式(評価額)	276,188,880,844	270,408,907,492	268,931,381,315	264,809,294,656	273,032,964,830	253,739,592,867
未収入金	1,862,130,557	—	10,622,733,895	1,790,729,325	—	14,834,099
未収配当金	504,669,248	214,347,193	373,548,581	267,619,974	190,295,456	164,580,443
(B) 負債	1,832,058,960	720,666,453	6,115,981,123	1,798,154,257	2,011,740,815	755,123,080
未払金	1,031,921,177	—	5,544,701,540	894,181,407	—	32,943,584
未払解約金	800,108,114	720,652,118	571,274,133	903,957,744	2,011,727,845	722,164,735
未払利息	29,669	14,335	5,450	15,106	12,970	14,761
(C) 純資産総額(A-B)	293,455,209,926	278,523,338,778	276,824,334,115	273,715,422,122	278,525,789,029	261,548,490,867
元本	41,865,862,474	40,090,001,361	39,349,933,594	38,024,431,695	36,644,225,298	34,648,041,307
次期繰越損益金	251,589,347,452	238,433,337,417	237,474,400,521	235,690,990,427	241,881,563,731	226,900,449,560
(D) 受益権総口数	41,865,862,474口	40,090,001,361口	39,349,933,594口	38,024,431,695口	36,644,225,298口	34,648,041,307口
1万口当たり基準価額(C/D)	70,094円	69,475円	70,349円	71,984円	76,008円	75,487円

○損益の状況

項 目	第155期	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期
	2017年1月28日～ 2017年2月27日	2017年2月28日～ 2017年3月27日	2017年3月28日～ 2017年4月27日	2017年4月28日～ 2017年5月29日	2017年5月30日～ 2017年6月27日	2017年6月28日～ 2017年7月27日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	496,023,003	458,392,937	386,123,779	260,685,673	154,879,498	253,155,113
受取配当金	495,742,771	458,644,973	386,468,889	261,061,984	155,322,688	253,540,525
受取利息	552,445	71,251	—	17,014	—	32,631
その他収益金	—	53,342	49,189	—	—	—
支払利息	△ 272,213	△ 376,629	△ 394,299	△ 393,325	△ 443,190	△ 418,043
(B) 有価証券売買損益	16,351,525,586	△ 2,592,571,813	3,017,562,489	6,200,125,312	14,794,444,376	△ 2,101,170,512
売買益	23,179,159,245	5,510,562,379	8,671,101,474	11,536,619,135	15,726,126,237	4,961,512,000
売買損	△ 6,827,633,659	△ 8,103,134,192	△ 5,653,538,985	△ 5,336,493,823	△ 931,681,861	△ 7,062,682,512
(C) 保管費用等	△ 2,719,585	△ 2,791,399	△ 3,163,035	△ 2,819,492	△ 2,539,116	△ 2,571,346
(D) 当期損益金 (A+B+C)	16,844,829,004	△ 2,136,970,275	3,400,523,233	6,457,991,493	14,946,784,758	△ 1,850,586,745
(E) 前期繰越損益金	244,893,691,898	251,589,347,452	238,433,337,417	237,474,400,521	235,690,990,427	241,881,563,731
(F) 追加信託差損益金	8,946,585,236	601,361,331	469,015,826	149,754,512	163,743,339	137,407,168
(G) 解約差損益金	△ 19,095,758,686	△ 11,620,401,091	△ 4,828,475,955	△ 8,391,156,099	△ 8,919,954,793	△ 13,267,934,594
(H) 計 (D+E+F+G)	251,589,347,452	238,433,337,417	237,474,400,521	235,690,990,427	241,881,563,731	226,900,449,560
次期繰越損益金 (H)	251,589,347,452	238,433,337,417	237,474,400,521	235,690,990,427	241,881,563,731	226,900,449,560

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

① 作成期首 (前作成期末) 元本額 43,600,161,448円

  作成期中追加設定元本額 1,733,649,504円

  作成期中一部解約元本額 10,685,769,645円

  また、1口当たり純資産額は、作成期末7,5487円です。

② 作成期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

  グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン Aコース (為替ヘッジあり) 290,683,357円

  グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン Bコース (為替ヘッジなし) 1,380,656,853円

  グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド 32,809,759,747円

  グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド (為替ヘッジあり) 166,941,350円

  合計 34,648,041,307円

[お知らせ]

① 信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める (分散型に分類) ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2016年11月25日)

② 運用指図権限の委託先である「ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー」への報酬規程の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2016年11月25日)

③ 実態としてマザーファンドにおいてのみ運用指図権限を委託することになるため、これに即した記載とすべく、マザーファンドにおける委託先への報酬に係る記載を整備し、信託約款に所要の変更を行いました。

(2017年5月27日)